

2015年9月11日

各位

**日本ゼオン、富山県氷見市における液晶テレビ用位相差フィルム生産能力の更なる増強を決定**

**～2017年1月 量産開始予定～**

日本ゼオン株式会社

日本ゼオン株式会社（社長：田中 公章）は、富山県氷見市の光学フィルム工場における液晶テレビ用位相差フィルム生産設備を増強することを決定いたしました。第6系列目となる今回の設備増強は今年の2月に量産を開始した第5系列に続くもので、第6系列稼働後の同工場の液晶テレビ用位相差フィルム生産能力は現行より2,400万㎡/年増え、合計11,900万㎡/年となります。

位相差フィルムは、液晶テレビの視野角（\*）を広げるために必要な部材で、液晶テレビの画像品質に欠かせない材料です。当社の位相差フィルムは高透明性、低複屈折、低波長分散、低光弾性などの優れた光学特性を有するとともに、低吸湿性、高耐熱性などの優れた寸法安定性を有していることから、多くのユーザーに採用されてきました。近年はテレビサイズの大形化や4Kテレビに代表される高精細化の進展にともない、光学特性が良好で寸法安定性が優れている当社の位相差フィルムへの需要がますます増加してきています。

このような環境の中、第5系列は当初計画より2カ月前倒し、今年2月から量産を開始いたしましたが、稼働率も順調に上がり、2016年には全系列がフル稼働になる見込みであること、かつ液晶テレビ市場（面積ベース）が今後も安定した成長が見込まれる市場であることから、今回の能力増強を決定いたしました。

投資場所は、氷見市の既存工場内で生産能力は2,400万㎡/年を見込み、2017年1月の量産開始を目指します。

\* 視野角（表示が正常に見える範囲の正面からの角度）

以上

お問い合わせ先

日本ゼオン株式会社  
CSR 統括部門 広報室  
電話 03-3216-2747

**ZEON**